

I 第16週の発生動向 (2011/4/18~2011/4/24)

- インフルエンザについては、八戸市保健所、上十三保健所においては、新たに**注意報**が発令されました。東地方+青森市保健所においては第10週から**警報**が、弘前市保健所においては第15週から**注意報**が継続しています。(詳細についてはV県内インフルエンザ情報をごらんください)。
- 流行性耳下腺炎については、上十三保健所においては第15週から**注意報**が、むつ保健所管内においては第47週から**警報**が継続しています。

II 第16週五類感染症定点把握 注：五類感染症定点把握疾病の警報・注意報については、二次保健医療圏単位で判定しています。

青森県内の定点(医療機関)数については青森県感染症発生動向調査TOPページをご覧ください。

疾患名	東地方+青森市		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森県計		増減数	東地方(再掲)		青森市(再掲)	
	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点		数	人/定点	数	人/定点
(85) インフルエンザ	209	14.9	295	19.7	146	11.2	40	5.7	129	14.3	59	9.8	878	13.7	338	12	6.0	197	16.4
小児科																			
(74) RSウイルス感染症	2	0.2	3	0.3	2	0.2			6	1.0			13	0.3	6			2	0.3
(75) 咽頭結膜熱	2	0.2	3	0.3					1	0.2	4	1.0	10	0.2	4			2	0.3
(76) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	16	1.8	1	0.1	2	0.2	1	0.2	2	0.3	1	0.3	23	0.5	5			16	2.0
(77) 感染性胃腸炎	72	8.0	45	5.0	27	3.0	12	2.4	34	5.7	26	6.5	216	5.1	-7	12	12.0	60	7.5
(78) 水痘	4	0.4	11	1.2	10	1.1	2	0.4	7	1.2	6	1.5	40	1.0	-14	1	1.0	3	0.4
(79) 手足口病	1	0.1	6	0.7	1	0.1							8	0.2	6			1	0.1
(80) 伝染性紅斑	4	0.4	2	0.2	1	0.1	1	0.2	3	0.5	5	1.3	16	0.4	7			4	0.5
(81) 突発性発しん	9	1.0	5	0.6	5	0.6	2	0.4	3	0.5	2	0.5	26	0.6	-1			9	1.1
(82) 百日咳															-1				
(83) ヘルパンギーナ															-1				
(84) 流行性耳下腺炎	7	0.8	1	0.1	25	2.8			21	3.5	13	3.3	67	1.6	9			7	0.9
眼科																			
(86) 急性出血性結膜炎					4	2.0	1	1.0					5	0.5	4				
(87) 流行性角結膜炎															0				
(92) クラミジア肺炎															0				
基幹																			
(93) 細菌性髄膜炎															0				
(95) マイコプラズマ肺炎			1	1.0	2	2.0					2	2.0	5	0.8	-6				
(96) 無菌性髄膜炎															0				

は警報、は注意報。「空欄」：患者発生無し。

III 表II以外の感染症法対象疾患 (注：届出状況は速報値です)

- (9) 結核(二類全数把握疾患)：青森4人、八戸4人、五所川原2人 (23年計：109人)

IV 病原体検出情報

※()内は患者数です。

- インフルエンザ患者3名(検体採取期間：4/11~4/13)については、**B型インフルエンザウイルス**：弘前(1)、八戸(2)です。

感染症の窓

アメーバ赤痢(五類全数把握疾患)

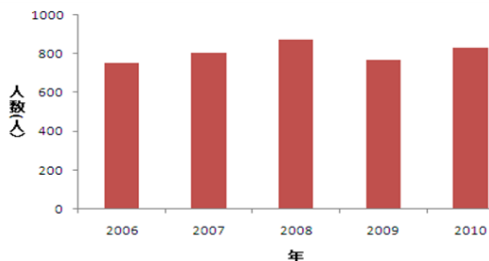


図 国内のアメーバ赤痢届出数

年	2006	2007	2008	2009	2010
届出人数	1	1	4	4	3

アメーバ赤痢感染者は、開発途上国に集中していますが、国内感染例もあります。先進国で感染率が高いのは、男性同性愛者、開発途上国からの帰国者、福祉施設居住者等であると報告されています。

赤痢アメーバは原虫で、このシスト(嚢子)が飲食物を介して経口摂取されると、胃を経て小腸で栄養体(原虫)となり、分裂を繰り返して大腸に達し、大腸粘膜に病変を起こして発症します。

潜伏期間は、一般に2~3週間ですが、数カ月~数年の例もあります。症状は、腸管アメーバ症の場合は、下痢、イチゴゼリー状粘血便、排便時の腹痛で、多くは寝込むほどではなく、数週間周期で良くなったり悪くなったりを繰り返して慢性化します。

腸管外アメーバ症は、アメーバ原虫が血行性に転移して他の臓器に発症するもので、主に肝膿瘍となり、症状は、発熱、右脇腹痛、吐き気、全身倦怠感等です。

感染源は、患者、無症状シスト保菌者の糞便です。無症状や軽症状のため治療を受けない場合は、糞便へのシスト排出は数年続きます。

感染を防ぐには、日常の衛生管理を徹底するとともに、疑わしい症状のある場合は医療機関を受診することが大切です。

V 県内インフルエンザ情報

警報レベル開始基準値：30人/定点、警報終息基準値：10人/定点、注意報基準値：10人/定点

(※ 警報注意報基準値は保健所ごとの定点あたり報告数が基準となっています。)

週	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
東地方						1		5	8	20	32	20	15	15	16	28	20	10	12	12	13	11	12
弘前						1	6	29	131	198	233	138	103	63	50	41	78	104	127	137	141	181	295
八戸	6	3	1	1	1	9	12	48	121	316	285	247	133	80	44	39	53	34	35	53	36	64	146
五所川原			1		1		2	27	46	80	114	82	38	7	24	31	31	38	25	22	22	32	40
上十三			2	1			6	123	243	283	284	142	98	60	59	35	48	44	51	82	76	77	129
むつ	1					1	1	11	68	137	207	131	79	57	75	109	79	70	46	16	14	25	59
青森市	5	3	1	2		2	7	27	93	232	267	198	148	110	152	220	463	455	295	274	167	150	197

A型（迅速診断キットによる型別です）

週	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
東地方						1		5	8	20	32	20	13	15	21	0	10	6	6	4	1	0	0
弘前						1	6	29	131	198	232	138	103	63	45	35	33	17	22	24	21	35	2
八戸	5	3	1	1	1	9	12	48	121	299	263	236	122	76	42	36	47	33	25	21	14	13	33
五所川原			1		1		2	27	46	79	114	81	37	7	17	17	10	10	6	13	5	4	4
上十三			1	1			5	112	231	267	272	111	94	57	45	27	43	25	17	28	13	20	31
むつ	1					1	1	11	68	135	206	130	79	56	75	109	75	56	33	6	2	1	3
青森市	5	3	1	2		2	7	27	89	227	257	181	117	71	59	45	138	71	26	14	2	1	2

B型（迅速診断キットによる型別です）

週	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
東地方													2		14	28	10	4	6	8	12	11	12
弘前											1				5	6	45	87	105	113	120	146	293
八戸										1	1	1		2		1	5	1	9	32	21	45	102
五所川原													1		7	14	21	28	19	9	17	28	36
上十三			1				1	1				2		3	10	8	4	16	34	40	58	54	100
むつ									2		1	1		1		0	4	14	13	10	18	24	56
青森市											1	10	15	25	71	151	287	350	265	254	161	148	195

年齢区別

週	46	47	48	49	50	51	52	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
～5ヶ月			1					2	3	8	8	4	2			2		1	1	3		2	2
～11ヶ月								6	14	20	24	10	13	7	11	5	8	6	9	4		7	5
1歳	1					1		4	32	52	63	46	27	21	21	22	28	28	18	28		33	26
2歳		1						8	26	31	53	26	18	17	13	19	25	18	17	30		27	41
3歳	1	1				1		6	26	42	43	38	35	15	31	24	37	36	43	59	1	49	49
4歳	1							5	27	61	54	42	30	24	32	44	75	58	62	48	7	46	65
5歳								5	13	34	55	38	41	29	36	41	66	66	51	67	45	49	47
6歳	1							3	10	35	42	49	34	17	32	49	68	55	53	62	38	39	81
7歳	3						1	4	17	37	29	24	25	23	28	33	119	98	50	50	51	38	85
8歳	2						3	3	13	34	56	48	25	11	25	51	80	77	38	37	70	38	82
9歳			1				1	4	9	58	56	50	30	24	14	30	51	52	36	35	61	35	85
10～14歳	2	3				1	3	16	52	176	291	171	117	63	53	78	135	162	126	99	47	101	176
15～19歳					1		2	18	52	103	110	64	16	21	19	11	11	10	11	7	32	14	56
20～29歳				2		4	7	85	157	185	130	101	42	34	18	18	17	16	16	22	29	20	29
30～39歳			2	1		4	6	45	88	142	164	79	46	34	29	24	21	37	30	25	14	21	24
40～49歳	1					3	4	21	70	95	89	85	35	22	26	15	12	11	13	8	48	6	13
50～59歳			1	1			4	23	63	109	98	47	44	15	22	18	7	6	7	6	9	6	2
60～69歳							2	8	23	33	32	16	20	9	6	14	4	10	6	5	14	4	9
70～79歳								3	12	9	21	15	12	2	3	3	6	5	3	1	14	2	1
80歳以上		1	1				1	1	3	2	4	5	2	4	1	2	2	3	1		10	3	

VI 保健所管内別全数把握疾患発生状況（青森県）（届出数は速報値です）単位：人 2010年第45週～2011年第15週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
45	H22.11.8 ~ H22.11.14						
46	H22.11.15 ~ H22.11.21					腸管出血性大腸菌感染症1人 A型肝炎1人	
47	H22.11.22 ~ H22.11.28						つつが虫病1人
48	H22.11.29 ~ H22.12.5						
49	H22.12.6 ~ H22.12.12			クロイツフェルト・ヤコブ病1人			
50	H22.12.13 ~ H22.12.19						
51	H22.12.20 ~ H22.12.26		レジオネラ症1人	急性脳炎1人			
52	H22.12.27 ~ H23.1.2						
1	H23.1.3 ~ H23.1.9						
2	H23.1.10 ~ H23.1.16						
3	H23.1.17 ~ H23.1.23						
4	H23.1.24 ~ H23.1.30			腸管出血性大腸菌感染症1人			
5	H23.1.31 ~ H23.2.6	腸管出血性大腸菌感染症1人	急性脳炎1人	麻しん1人			
6	H23.2.7 ~ H23.2.13			麻しん1人			
7	H23.2.14 ~ H23.2.20					腸管出血性大腸菌感染症1人	
8	H23.2.21 ~ H23.2.27		腸管出血性大腸菌感染症1人			腸管出血性大腸菌感染症1人	
9	H23.2.28 ~ H23.3.6		腸管出血性大腸菌感染症3人				
10	H23.3.7 ~ H23.3.13		劇症型溶血性レンサ球菌感染症1人	梅毒1人			
11	H23.3.14 ~ H23.3.20						
12	H23.3.21 ~ H23.3.27						
13	H23.3.28 ~ H23.4.3						麻しん1人
14	H23.4.4 ~ H23.4.10						
15	H23.4.11 ~ H23.4.17			麻しん1人 アメルバ赤痢1人		麻しん1人	

VII 結核(二類全数把握疾患) 2010年第45週～2011年第15週

週	期 間	東地方+青森市	弘前	八戸	五所川原	上十三	むつ
45	H22.11.8 ~ H22.11.14	2	4	1		1	
46	H22.11.15 ~ H22.11.21	3	2	1	1	3	
47	H22.11.22 ~ H22.11.28			6	1	1	
48	H22.11.29 ~ H22.12.5		1	1			
49	H22.12.6 ~ H22.12.12	1	1			1	1
50	H22.12.13 ~ H22.12.19	1	5	3	3	2	4
51	H22.12.20 ~ H22.12.26	3	2	6	3		1
52	H22.12.27 ~ H23.1.2		1	1	1	1	
1	H23.1.3 ~ H23.1.9	2	1	2	4		
2	H23.1.10 ~ H23.1.16		1	2	2	1	
3	H23.1.17 ~ H23.1.23		1	5	3		
4	H23.1.24 ~ H23.1.30		1	2		4	1
5	H23.1.31 ~ H23.2.6	2	1	2			
6	H23.2.7 ~ H23.2.13					1	1
7	H23.2.14 ~ H23.2.20		1	1	1		
8	H23.2.21 ~ H23.2.27		2		5	1	1
9	H23.2.28 ~ H23.3.6		3	1		1	
10	H23.3.7 ~ H23.3.13	2	1	3			
11	H23.3.14 ~ H23.3.20	2		2	1	2	1
12	H23.3.21 ~ H23.3.27		1	1			
13	H23.3.28 ~ H23.4.3	1	2	2		1	
14	H23.4.4 ~ H23.4.10	2	2	1	1	2	
15	H23.4.11 ~ H23.4.17	1	2		1		

VIII 全数把握疾患発生状況（全国-青森県）（注：届出状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

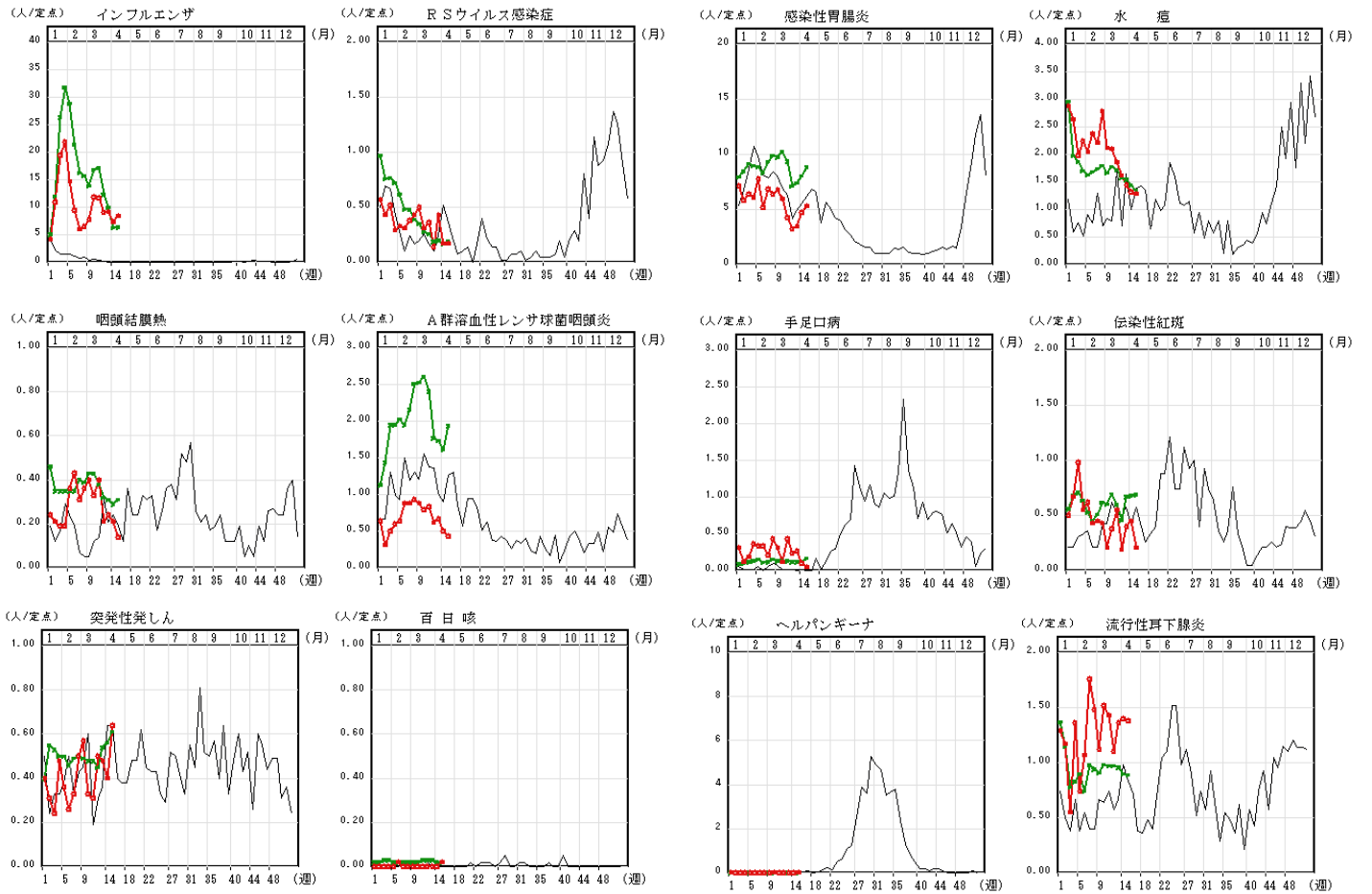
2011年4月22日17時集計速報値

	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	
	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノコックス症	オウム病	コクシジオイトシス症	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本脳炎	ボツリノス症	マラリア	ライム病	レジオネラ症	レプトスピラ症
全国	7675	1	63	206	2	10	21	103	8	7	2	3	41	33	1	2	16	2	2	140
青森県	90	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
	アメルバ赤痢	ウイルス性肝炎	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	髄膜炎菌性髄膜炎	梅毒	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん						
全国	215	73	107	3	33	64	383	20	1	187	20	16	60	125						
青森県	1	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0	0	0	5						

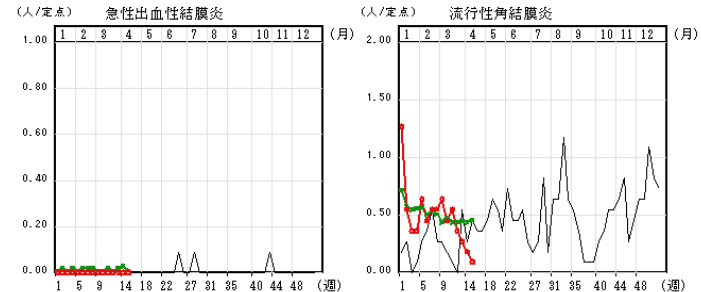
グラフの説明 ○—○は 2011 年青森県、—は 2010 年青森県、○—○は 2011 年全国

IX インフルエンザ・小児科定点把握疾患週別推移

2011 年第 15 週



X 眼科定点把握疾患週別推移 2011 年第 15 週



XI 基幹定点把握疾患週別推移 2011 年第 15 週

